

NPO 法人三木自然愛好研究会

三 愛 だ よ り



第 229 号 2023 (令和 5) 年 5 月 11 日 発行

発行事務局 : 三木市細川町増田 1204 番地

我入れば暫し菖蒲湯あふれやまず/高浜虚子

電 話 : 0794-82-3095 (北村) <http://mikisizen.gl.xrea.com>

=4 月 15 日の活動推進連絡会より=

4 月 15 日に開催された理事会の内容については、前月号で報告しましたが、理事会終了後引き続き開催された活動推進連絡会で、雨天時のかんさつ会とイベントの開催について話し合いがされ、また、藍について福本麻由美会員から説明を受け、ふるさと公園の畑に藍を定植し、生葉を使って、たたき染めなどの体験を行うことが決まりました。

1 雨天時のかんさつ会、イベントの開催判断について

この日は午前 10 時から「春の草花かんさつ&野草の天ぷらを楽しもう」が予定されていました。ところが、14 日の午後から 15 日の午前にかけて、まとまった雨量と強い風との天気予報が出ていたことから、テントの借り上げ、設営などの準備や当日の開催も難しいとの判断から 14 日の午後 10 時 30 分に中止と決定しました。

しかし、実際には予報ほどの雨風はなく 15 日の午前 9 時から正午は雨、風ともなくかんさつ会ができるという状況でした。幸い参加者に混乱はなかったものの、このようなことから、今後のかんさつ会とイベントの開催判断について話し合いの結果、次のとおりになりました。

□基本は、開催日当日の午前 8 時に三木市において、天気予報で雨の「注意報」「警報」が出ている時は開催を中止する。

□事前準備の段階でイベントの中止判断をした場合でも、かんさつ会は、当日に「注意報」「警報」が出ていない時は開催する。(少雨決行)。

★開催か中止かがわかりにくい時は、役員に問い合わせいただく。現地でも役員が対応する。三愛研のホームページ、Instagram、Twitter を利用し情報発信を行う。

2 藍の定植について (文と写真:福本麻由美)

今年、ふるさと公園の畑にタデアイを植えさせていただくことになりました。タデアイは藍染めの染料となる植物です。青色の色素インジゴを生成する植物を総じて「藍」と呼び、日本の多くの地域で昔から栽培されているタデアイはタデ科、琉球藍はキツネノマゴ科、インド藍はマメ科、ユーラシア大陸に多い大青(タイセイ、ウオード)はアブラナ科と、全く違う種類がこれに含まれます。

ジャパニーズブルーでお馴染みの紺は、タデアイの葉を有機物とともに手間暇かけて発酵・熟成させた染液で染めます。この染料は木綿と相性がよく、江戸の町は青で埋め尽くされました。また、防虫、抗菌など、機能性も伴った染め方といえます。

同じく藍の葉から、手間暇をかけずに染める方法もあります。使うのは生の葉と水だけ。絹などの動物性繊維なら、すがすがしい水色に染まります。布の上に葉を並べ、ハンマーなどでとんとたたくと、葉が持っているインジゴが布に染めつく「たたき染め」という手法もあります。皆様にも体験していただけたらうれしいです。(次頁へ続く)

3月30日に播種し、5月6日に定植しました。梅雨が藍を大きく育てます。葉の盛りは盛夏です。刈っても刈ってもまた伸びる。非常に生命力の強い植物です。お盆を過ぎると、濃いピンク色の花穂をつけます。



2023年4月中旬～5月上旬の事業報告

4月20日(木) 三愛だより、年間イベントスケジュール発送 15:00-17:00 8名

ホームページアドレス <http://mikisizen.gl.xrea.com> をパソコンなどに入力する
または、4月号IP掲載のHPのQRコードをスマホで読み取ると、カラー版「三愛だより」を、三愛研のホームページで見ることができます。

4月26日(水) 豊地小学校3年生環境学習支援 10:00-11:30 児童8名

2023年(令和5年)5月1日 月曜日 不申 戸 兼所 屋早

希少生物 豊地小児童が観察 三木の増田ふるさと公園

小学生が希少な動植物を観察し、特徴や生態を学ぶ授業が、増田ふるさと公園(三木市細川町増田)であった。豊地小学校3年生8人が、セトウチサンシヨウオオなど希少な生き物について、手で触れながら学んだ。(小野明海)

県内の小学3年生が行う環境体験事業。同校の児童は15年以上前から、毎年同公園で学んでいるという。今年4月26日にあり、NPO法人三木自然愛好研究会のメンバーがガイドを務めた。

雨の中子どもたちは、シュレーゲルアオガエルの美しい鳴き声に耳を澄ませ、セトウチサンシヨウオオなど初めて見る生き物をじっくり観察。ニホンアカガエルのオタマジャクシやドンゴにそと指を伸ばし「ムニムニユする!」など歓声をあげていた。

ザリガニが水草を食べてしまい、在来種のすみかや産卵場所を奪っていることも学んだ。田村碧音さん(8)は「絶滅危惧種をいっぱい見られてよかった。ザリガニはおなかをうろこみたいにくっついて面白かった」と話していた。

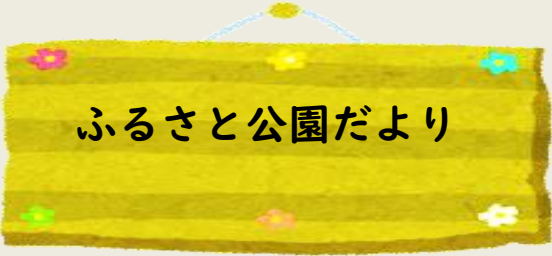
希少な生き物を観察する子どもたち=三木市細川町増田

5月2日(木) 三役会議

5月11日(木) 総会議案書、おもだか、三愛だより発送 14:00

※5月28日の通常総会に議案書をお持ちください。

活動推進連絡会 16:00 市民活動センター



ふるさと公園だより

西の池のミヤコグサ、カザグルマが見ごろを迎え、チョウやトンボが増えてきました。



レンゲ

エゴノキ



ミヤコグサ



カザグルマ (紫)



カザグルマ (白)



ホソミオツネントンボ



ベニシジミ



アオスジアゲハ

ハラビロトンボ



ヨツボシトンボ



ヒメウラナミジャノメ

お詫びと訂正
 前月号の P3 ふるさと公園だより中「シハイスミレ」とあるのは誤りです。正しくは「タチツボスミレ」です。お詫びして訂正します。

2023年5月中旬～6月 三愛研事業活動予定表

| 日 | 曜 | 行事など | 日 | 曜 | 行事など |
|----|---|---|----|---|----------------------------|
| 5月 | | | 5月 | | |
| 12 | 金 | 三木山森林公園観察会事前打ち合わせ 15:00 | 6 | 火 | |
| 13 | 土 | | 7 | 水 | |
| 14 | 日 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【5/28 通常総会の日程】</p> <p>受付 9:00-</p> <p>開会・来賓紹介 9:20-9:40</p> <p>総会 9:40-10:40</p> <p>記念講演 10:50-12:20</p> <p>昼食・談話 12:20-13:00</p> <p>解散・後片付け 13:00-</p> <p>*弁当を用意します</p> </div> | 8 | 木 | 三愛だより発送作業 15:00 |
| 15 | 月 | | 9 | 金 | |
| 16 | 火 | | 10 | 土 | |
| 17 | 水 | | 11 | 日 | |
| 18 | 木 | | 12 | 月 | |
| 19 | 金 | | 13 | 火 | |
| 20 | 土 | ヤブレガサモドキ株数調査 8:45 ふるさと公園集合 | 14 | 水 | 豊地小学校3年生環境学習支援 |
| 21 | 日 | ふるさと公園植生調査、草刈り 9:00 | 15 | 木 | |
| 22 | 月 | | 16 | 金 | |
| 23 | 火 | | 17 | 土 | |
| 24 | 水 | | 18 | 日 | 脇川草刈り 教海寺 9:00 |
| 25 | 木 | 三役会議 | 19 | 月 | |
| 26 | 金 | | 20 | 火 | |
| 27 | 土 | 総会準備 15:00 市民活動センター3F 大会議室 | 21 | 水 | |
| 28 | 日 | 通常総会・記念講演 集合 8:30 | 22 | 木 | |
| 29 | 月 | | 23 | 金 | テント設営 教海寺 15:00 |
| 30 | 火 | | 24 | 土 | 水の中の生き物大発見 集合 8:00 開会 9:30 |
| 31 | 水 | | 25 | 日 | |
| 6月 | | | 26 | 月 | |
| 1 | 木 | 活動推進連絡会 19:00 | 27 | 火 | |
| 2 | 金 | | 28 | 水 | |
| 3 | 土 | | 29 | 木 | 三役会議 |
| 4 | 日 | 初夏の生き物かんさつ&サツマイモつる植え | 30 | 金 | |

【備考】5/28 記念講演 講師：永幡嘉之(ながはたよしゆき)氏：三愛研会員、自然写真家
演題：「裏山から世界各地～森を歩き続けた半世紀～」

□三愛だよりのご感想、ご意見、ご要望は米村まで。下記メールアドレスへどうぞ。

□情報をお待ちしています。 email:sirouma2000@yahoo.co.jp

例：ツバメの子育て、庭の花が咲いた、アマガエル、カタツムリの写真、

旅の風景(スマホ写真OK)、花の苗、野菜いりませんかなどなどお気軽にどうぞ。

□NHK朝ドラ「らんまん」は牧野富太郎がモデル

ドラマは、日本植物学研究の基礎を築いた高知県出身の牧野富太郎(ドラマでは槇野万太郎)の好きなもののため、一途に突き進む波乱万丈の人生が、フィクションで描かれています。

兵庫県の花「ノジグク」の命名者でもある牧野富太郎と兵庫とのゆかりについて、六甲高山植物園で7/2まで、人と自然の博物館では7/30まで特別展が開催されています。

編集者コラム